

教 員 氏 名	寺田 泰人	職 位	教授
最 終 学 歴	筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学専攻		
学 位	体育学修士、修甲第 3948 号（筑波大学）		
役 職	教育保育学部長	委員会	
担 当 科 目	幼児体育Ⅰ、 幼児と健康、保育内容指導法（健康）、 体育、体育科教育法、 保幼小連携総論、 保育実践演習、保育実習指導Ⅲ、 総合演習ⅠA、総合演習ⅠB 総合演習ⅡA、総合演習ⅡB 卒業研究、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ		
教科書・教材・教育方法の実践例	・実技授業では授業ノートを活用し、毎時の授業内容を書きとめるよう指導した。これによりテキストでその内容について確認するとともに、自身が指導する際には、対象年齢・人数等を考慮して、授業で学習した内容をより発展させることも考えるよう助言した。 ・パワーポイントを使用して、板書にかかる時間をなくし、効率的に授業を進めるよう工夫した。 ・授業で配布する資料を書き込み形式にして、授業内容を記入したり、各自テキストを参考に授業時間内に単元の内容をまとめるなど、単に出席して座っているだけにならないよう工夫した。 - またワークシートを活用し、自身の経験や実習体験などをもとに、意見を出し合って考える、わかりやすく情報をまとめ直す、応用問題を解く、などアクティブ・ラーニングを通して、実践力を身につけることを目指している。 ・指導計画案に基づくシミュレーション授業では、授業担当者による添削の後、毎授業にて順番にシミュレーション授業を実施する。 - そして指導計画の内容や指導方法、運動強度・運動量等、さまざまな角度から発表されたシミュレーションを評価し、受講学生が相互に、その後の学習活動へフィードバックしていくよう工夫した。 ・Ohka Moodle にて課題の提示や提出等を行うことで、学生が ICT 機器を利用して予習・復習を効率よく行えるよう工夫した。		

教育研究業績	1. 「タグラグビーの学習内容に関する一考察：「ボール持ち運び」時の状況に着目して」（共著） スポーツ教育学研究 78 第40巻 第2号 2020.12月 2. 「コロナ禍における幼児体育の学びを考える -遊びの工夫を通して気づいたこと-」（共著） 桜花学園大学保育学部研究紀要第23号 2021.3月 3. 「保育内容指導法（健康）におけるICTを活用した授業の工夫」（共著）桜花学園大学保育学部紀要第26号 2022.11月 4. 「幼児・学童に対するラグビーの効果的な指導方法に関する研究 -タグラグビーからミニラグビーへ- 日本ラグビー学会第16回大会 2023年3月
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会、東海体育学会、日本コーチング学会、日本発育発達学会、日本ラグビー学会、日本保育学会、日本スポーツ教育学会